



京都ナイトイベントの黎明となるか？
未曾有のホテルカーニバル、
70thの英断。

70th

HAPPY @ THE WESTIN MIYAKO KYOTO

京都の百貨店の系譜。呉服業を礎とする大丸や高島屋。そして「藤井大丸」もまた、そう。'70年代には「VAN」「JUN」などを擁し、KBSのサテライトスタジオを併設し、当時既に現在のファッションビルの原型を作り上げていたといっても過言ではない。常に中小百貨店の、そして時流に敏感なお洒落小僧&少女たちを牽引し続け、現在もそれは変わらない。

昨年8月、「HAPPY」なるイベントが開催された。発起人は藤井大丸を牽引するセレクトショップとカフェ「nano・universe」と「SHUHARI」。それぞれ久保・平山という担当者が事にあたった。そのイベントは、この『藤井大丸70周年記念式典』を私たちの手で…というプレゼンテーションでもあった。当のイベント中、藤井大丸取締役の太田氏から電話があった。もちろん、吉報。「ショップのパワーを活かす」。記念すべき節目を祝う式典を、テナント様とはいえ他人の手に委ねる。首脳陣の英断であった。

以来約8ヵ月、発起人たちは式典本番の場所を「ウエスティン都ホテル京都」に用意した。天皇家御用達であり、京都随一のリゾートホテルとしてのロケーションを持つ。料理は「SHUHARI」を経営する「cafe co.」が用意するという。ホテルたるもの、部外者に厨房を預けられるのか？他にも22時スタートで早朝まで、宿泊客への迷惑は？…etc.。不安要素もあった。「よいでしょう」。ホテルでのクラブイベントは、大阪では既に定例化している。次に英断を下したのは会場側だった。恐らく、京都初であろう。

そして我々一般人はただ楽しむだけでよかった。太田取締役も参加した各テナントのファッションショーをはじめ、DJ、ライブ…。泥酔騒ぎもあった、喫煙マナーだって足りなかった。初回を終えて反省点はある。だが、確実に歴史を刻む一夜だった。成功か失敗かはこの後の歴史が決めてくれる。

最後は太田取締役の後日談で締めくくろう。「次はまた別の形でショップのパワーを見せつけたい。これが藤井大丸の『存在の証明』なのだから」。首脳陣の英断はすなわち繁栄の理由、ではないだろうか。





↑「YAYOI~BRAINS」のスタッフ、カナちゃん(左) & クーちゃんは、モデルの同級生に会い、「同級生!? 人たくさんでわかんないし、もう純粋に楽しみます!」



↑オープニングの模範。完全非公開で、今日のメインオーガナイザーが一同に会したのはこの瞬間のみでした。「70周年の式典」と名が付いたのは、実はこれだけ



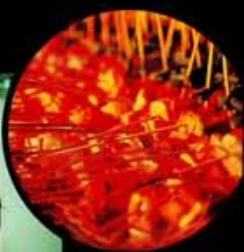
↑開会での挨拶からショーモデルまでこなした藤井大丸取締役・太田さん。「もう、好きにやって下さい(笑)」というのが最終的な答えだったとか



「JOURNAL STANDARD」Another Editionのお客様、ダイスケ(右) & サチコ。「ファッションショーはやっぱり必見。これを見た後は飲みまわりたい!」



この日のフードを一手に引き受けました「cafe co.」の太村さん。ピンチョスだけで6000本!! 直営店オープンラッシュの最中、さぞ不眠不休の努力だったかと...



↑帽子がオチャメなジュンコさんは「Another Edition」のスタッフ。「ファッションショーを見た後は、この帽子、買ってきてくださいわ」



「みんなめっちゃカジュアルやんか〜(怒)。式典って聞いてたのに〜」。黒いセクシーなドレスに身をまとったミチさん(右) & アサさん。いやいや、アナタ方が正しいです



劇大Fantastic Plastic Machineの田中知之(左)さんと、改装前まで「delic」が藤井大丸の住人だった小川さん。さすが旧友、一緒に? 「いやソコ(エントランス)でたまたま会って(笑)」

「今夜の仕掛人、nano universe 久保(右) & cafe co. 平山の両氏。「ぶっちゃけ、メチャメチャ忙しい」とのこと。撮影中もマジ打ち合わせ。あわあわ。久保氏はイベント中、DJとしても活躍。そりゃ忙しいわい



↑右側で戯けてますが、発起人の一方、平山さんの大上司。「cafe co.」の森井社長と、スタイリスト&アシスタント合計15人でショーモデルのヘアメイクを全て請うてみせた「san ai hair」の木村オーナー。実は中学時代からの友人



会場となったのは「ウェスティン都ホテル京都」の「瑞穂の間」。公式入場者数は920名。その他、インヴィテーションなどを含めれば1000人は下らないという報告



第一部・第二部あわせて8つのショップが各々のアイテムをまとめてステージに。「onituka Tiger」の出番を経て、全ショップのモデルがフィナーレを飾った。この後はライブやらDJやらで「ホテルで朝まで...」だったので



オーディエンスの中でも一際目立つオネエサマ方は「Elite Japan」のリンリン&ケイト&ランラン。「『デカイ』って言わないで、『背が高い』の!」。そのとおりっ

